

2026 年 5 月 20 日

課題名：COVID-19 パンデミック後の高齢インフルエンザ関連入院患者の転帰について
の検討

◆研究の目的と概要◆

インフルエンザは、高齢者にとって疾病の負担が大きい疾患ですが、COVID-19 のパンデミック前後において、臨床像が変化していることが指摘されています。また、高齢者はインフルエンザ罹患回復後も様々な疾患続発や活動性の低下が起こることも報告されています。

COVID-19 パンデミック後に、インフルエンザ関連疾患により入院した高齢者の入院後の転帰を調べることで、若年者層との相違や動向およびインフルエンザ罹患後の影響を検討します。この検討により、高齢者インフルエンザ患者において、入院自体を防ぐことが重要であることが証明され、ワクチン接種等の予防の必要性を示したいと考えます。

◆対象となる患者さん◆

2023 年 9 月から、2026 年 3 月までの間に、インフルエンザ関連の疾患にて倉敷中央病院に入院された 15 歳以上の方。

◆研究に使用される情報・試料◆

- ・年齢、性別、家族内感染の有無、基礎疾患、入院前の PS、喫煙歴、ワクチン歴)、インフルエンザの診断方法、ウイルス型、入院日数、入院の原因となった病態、入院後の転帰（死亡、自宅退院、転院のいずれか
- ・リハビリ導入例で、リハビリ開始時と退院時における機能的自立度の点数

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 6 月 16 日

◆研究方法◆

対症患者さんの診療録より、調査項目のデータを抽出します。

-
- * 研究成果は学会、論文等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

呼吸器内科 研究責任者 石田 直

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明